

授業計画（シラバス）

保育学科

1年

クリックすると該当のページへジャンプします

- ・ 体育実技/理論（多胡）
- ・ 体育実技/理論（小笠原）
- ・ 日本国憲法
- ・ 情報処理入門Ⅰ
- ・ 情報処理入門Ⅱ
- ・ 社会福祉
- ・ 児童家庭福祉
- ・ 保育原理
- ・ 社会的養護
- ・ 教育原理
- ・ 保育課程論
- ・ 保育の心理学Ⅰ
- ・ 保育の心理学Ⅱ
- ・ 子どもの保健Ⅰ
- ・ 保育内容総論
- ・ 環境の指導
- ・ 言葉の指導
- ・ 乳児保育
- ・ 地域子育て論A
- ・ 障害児保育
- ・ 手話コミュニケーション
- ・ 造形
- ・ 幼児体育（小笠原）
- ・ 幼児体育（多胡）
- ・ 音楽
- ・ 音楽Ⅱ
- ・ 保育実習Ⅰ（保育所）
- ・ 保育実習Ⅱ（施設）
- ・ 保育実習指導Ⅰ

科目名 (英語名)	体育実技/理論 Physical Education and Theory		科目コード 233100	(ふりがな) 担当者	たご あやか 多胡 綾花	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	通年	授業方法	講義/演習	
[履修条件、準備等] ① 運動できる服装(体操服・髪は結ぶ・アクセサリ外す) ② 体育館シューズ着用(種目によっては屋外用シューズを用意)。 ※初回は着替えずに、体育館に集合すること。						
授業の具体的到達目標 各種スポーツやダンス・表現活動等の実践を通じて、以下のねらいを達成する。 ① 個々の能力に合わせて、体を動かす楽しさや表現する面白さを味わい、進んで運動する。 ② 身体能力、運動経験の違う仲間と協力しながら、コミュニケーション能力・協調性・実戦力を身に付ける。						
[授業の概要] 下記の種目を実施する。受講者の習熟度や天候等による教場の変更によって、各種目の回数は増減する。 前期と後期で担当者が交代する。						
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]
1回	ガイダンス バレーボール①		多胡	16回	表現発表PJ練習	小笠原
2回	バレーボール②		多胡	17回	表現発表PJ練習	小笠原
3回	バレーボール③		多胡	18回	表現発表PJ練習	小笠原
4回	バレーボール④		多胡	19回	表現発表PJ練習	小笠原
5回	テニス①		多胡	20回	バスケットボール①	小笠原
6回	テニス②		多胡	21回	バスケットボール②	小笠原
7回	テニス③		多胡	22回	バスケットボール③	小笠原
8回	テニス④		多胡	23回	アルティメット①	小笠原
9回	バドミントン①		多胡	24回	アルティメット②	小笠原
10回	バドミントン②		多胡	25回	アルティメット③	小笠原
11回	バドミントン③		多胡	26回	アルティメット④	小笠原
12回	卓球①		多胡	27回	フットサル①	小笠原
13回	卓球②		多胡	28回	フットサル②	小笠原
14回	卓球③		多胡	29回	フットサル③	小笠原
15回	表現発表PJ練習		多胡	30回	まとめ	小笠原
試験等	なし			試験等	レポート	小笠原
[成績評価] 意欲・態度・協調性(各種目への取り組みはもちろん、準備・片付け等への積極性)、レポート90%、運動技能 10% ※運動着、シューズの忘れおよび髪の結び忘れ等は減点対象となる						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 特になし						
	書名		著者		出版社	
テキスト	特になし					
参考文献	特になし					
[備考] 上記以外の担当者 後期担当：小笠原 <small>おがさわら</small> 大輔 <small>だいすけ</small>						

科目名 (英語名)	体育実技/理論 Physical Education and Theory		科目コード 233100	(ふりがな) 担当者	おがさわら 小笠原 だいすけ 大輔	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	通年	授業方法	講義/演習	
[履修条件、準備等] ① 運動できる服装 (体操服・髪は結ぶ・アクセサリ外す) ② 体育館シューズ着用 (種目によっては屋外用シューズを用意)。 ※初回は着替えずに、体育館に集合すること。						
[授業の具体的到達目標] 各種スポーツやダンス・表現活動等の実践を通じて、以下のねらいを達成する。 ① 個々の能力に合わせて、体を動かす楽しさや表現する面白さを味わい、進んで運動する。 ② 身体能力、運動経験の違う仲間と協力しながら、コミュニケーション能力・協調性・実戦力を身に付ける。						
[授業の概要] 下記の種目を実施する。受講者の習熟度や天候等による教場の変更によって、各種目の回数は増減する。 前期と後期で担当者が交代する。						
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]
1回	ガイダンス バレーボール①		小笠原	16回	表現発表PJ 練習	多胡
2回	バレーボール②		小笠原	17回	表現発表PJ 練習	多胡
3回	バレーボール③		小笠原	18回	表現発表PJ 練習	多胡
4回	バレーボール④		小笠原	19回	表現発表PJ 練習	多胡
5回	バスケットボール①		小笠原	20回	テニス①	多胡
6回	バスケットボール②		小笠原	21回	テニス②	多胡
7回	バスケットボール③		小笠原	22回	テニス③	多胡
8回	フットサル①		小笠原	23回	テニス④	多胡
9回	フットサル②		小笠原	24回	バドミントン①	多胡
10回	フットサル③		小笠原	25回	バドミントン②	多胡
11回	アルティメット①		小笠原	26回	バドミントン③	多胡
12回	アルティメット②		小笠原	27回	卓球①	多胡
13回	アルティメット③		小笠原	28回	卓球②	多胡
14回	アルティメット④		小笠原	29回	卓球③	多胡
15回	表現発表PJ 練習		小笠原	30回	まとめ	多胡
試験等	なし			試験等	レポート	多胡
[成績評価] 意欲・態度・協調性 (各種目への取り組みはもちろん、準備・片付け等への積極性)、レポート 90%、運動技能 10% ※運動着、シューズの忘れおよび髪の結び忘れ等は減点対象となる						
[準備学習 (予習・復習等) の内容] 特になし						
	書 名		著 者		出 版 社	
テキスト	特になし					
参考文献	特になし					
[備考] 上記以外の担当者 後期担当：多胡 綾花						

科目名 (英語名)	日本国憲法(憲法を考える)		科目コード	(ふりがな) 担当者	よこて いつお 横手逸男	専任・非常勤
	JAPANESE CONSTITUTION		233105			非常勤
2単位	開講期	前期	授業方法	講義/演習		
[履修条件、準備等] 一見、何となくとっつきにくい憲法。しかし、マスコミ等の報道にも注意して下さい。 何だろう？何故だろう？ 自分のわからないところはどこか。問題意識をもつことも大切です。						
[授業の具体的到達目標] 日本国憲法の平和主義、基本的人権、国会・内閣・裁判所の制度に関するさまざまな考えや事例を学ぶことにより、社会生活に必要な基礎知識が身につきます。						
[授業の概要] 憲法は国家の最高法であり、憲法を学び、知識を深めることは、国民として当然の義務ともいえる。 本授業では、平和主義、基本的人権、国会・内閣・裁判所などにつき、具体的な事例(判例)をふまえてわかりやすく講義します。平和と安全保障、社会保障制度、法の下での平等、犯罪と刑罰、死刑存廃論議、学校事故と国家賠償請求権、労働問題、裁判員制度、環境問題など現代社会のさまざまな問題を、日本国憲法を通じて考察しよう。						
[授業計画]						[担当]
1回	法の概念	(1)授業の内容	(2)社会と規範	(3)国家と憲法	横手	
2回	新旧両憲法	(1)大日本帝国憲法	(2)日本国憲法	(3)新旧両憲法の差異	横手	
3回	天皇制度	(1)国民主権	(2)象徴天皇制	(3)天皇の地位と権能	横手	
4回	平和主義	(1)戦争放棄条項	(2)学説・判例	(3)防衛をめぐる動き	横手	
5回	国際貢献	(1)防衛の基本原則	(2)PKO活動	(3)武力攻撃事態対処法・有事関連法	横手	
6回	人権の歴史	(1)近代市民革命	(2)人権の体系	(3)公共の福祉・人権の享有主体	横手	
7回	平等権	(1)平等権の種類	(2)法の下での平等	(3)尊属殺人重罰規定違憲判決	横手	
8回	精神的自由	(1)自由権の種類	(2)思想・良心の自由	(3)信教の自由・政教分離の原則	横手	
9回	精神的自由	(1)学問の自由	(2)表現の自由	(3)知る権利・プライバシーの権利	横手	
10回	国務請求権	(1)請願権	(2)国家賠償請求権	(3)刑事補償請求権	横手	
11回	社会権	(1)生存権	(2)教育を受ける権利	(3)労働三権の保障	横手	
12回	人身の自由	(1)罪刑法定主義	(2)令状主義	(3)被疑者・被告人の権利	横手	
13回	死刑存廃論議	(1)犯罪と刑罰	(2)死刑制度	(3)死刑存廃論議	横手	
14回	国会と内閣	(1)三権分立	(2)国会の組織	(3)内閣の組織	横手	
15回	裁判所	(1)裁判所の種類	(2)司法権の独立	(3)裁判公開の原則	横手	
試験等	定期試験実施					横手
[成績評価] 定期試験(8割)と出席状況・小テスト(2割)の結果を総合的に判断して評価します。						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 毎回の授業の最後に次週の授業予定、テキストの該当分野を伝えます。 授業に際しては、あらかじめテキストの次週の分野を一読してみましよう。						
	書名	著者		出版社		
テキスト	改訂 エレメンタリ憲法	西修編 横手逸男 他共著		成文堂		
参考文献	三省堂『新六法』2016年版					
	確認 憲法用語300	大沢秀介 編		成文堂		
[備考] 授業終了後にオフィスアワーを設けます。わからない点があったらご質問ください。						

科目名 (英語名)	情報処理入門 I (Introduction to information processing I)		科目コード	(ふりがな) 担当者	こうが たかし 甲賀 崇史	専任・非常勤
			233115			非常勤
単位	開講期	前期	授業方法	演習		
[履修条件、準備等] 各自 USB メモリー(2 GB 以上)を準備し、毎回の授業に持参すること。USB メモリーについては初回授業で説明する。						
[授業の具体的到達目標] コンピュータの初歩的操作を学び、保育現場で活用できることを目指す。実習授業とも連携し、パソコンを用いた実習準備も行う。						
[授業の概要] 情報処理入門としてコンピュータ操作の初歩を学ぶ。とくに、保育現場での活用を前提とした実践的な内容を重点的に扱う。						
[授業計画]						[担当]
1 回	基本的なパソコン操作①(パスワード変更、OA 教室の使い方など)、実習園の探し方②					甲賀
2 回	実習園の探し方②					甲賀
3 回	情報リテラシーガイダンス、実習園希望調査票回収					甲賀
4 回	基本的なパソコン操作②(メールの設定、メールのマナー、タッチタイピングなど)					甲賀
5 回	Word の基本「遠足のお知らせ」①(基本操作、文書作成の基本)					甲賀
6 回	Word の基本「遠足のお知らせ」②(文書作成の基本、文書の印刷)					甲賀
7 回	Excel の基本(基本操作、計算式、表の作成、グラフの作成など)					甲賀
8 回	Excel の基本「成長の記録」①(表を使った文書作成)					甲賀
9 回	Excel の基本「成長の記録」②(表を使った文書作成)					甲賀
10 回	PowerPoint の活用「出身園紹介」①(基本操作、ストーリー作成)					甲賀
11 回	PowerPoint の活用「出身園紹介」②(写真の取り込みと加工、アニメーションの設定)					甲賀
12 回	PowerPoint の活用「出身園紹介」③(写真の取り込みと加工、アニメーションの設定)					甲賀
13 回	PowerPoint の活用「出身園紹介」④(プレゼンテーションの基礎、発表会)					甲賀
14 回	PowerPoint の活用「出身園紹介」(発表会)					甲賀
15 回	前期まとめ(ファイルの整理など)					甲賀
試験等	課題・レポート					甲賀
[成績評価] 課題 60%、レポート 40%の比率で総合的に評価する。						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 予習は、タッチタイピングが苦手な者はその練習。タッチタイピングについては授業の中で説明する。復習は、日常のパソコン使用場面において、授業内学習事項を参照の上活用すること。						
	書名	著者	出版社			
テキスト						
参考文献	特になし					
[備考] それぞれのクラスに TA が配置される。 課題の提出には e ラーニングシステムを利用する。質問がある場合には授業終了後などに教室で受け付ける。						

科目名 (英語名)	情報処理入門 II (Introduction to information processing II)		科目コード	(ふりがな) 担当者	こうが たかし 甲賀 崇史	専任・非常勤
			233120			非常勤
1 単位	開講期	後期	授業方法	演習		
[履修条件、準備等] 前期「情報処理入門 I」で使用した USB メモリーを毎回持参すること。						
[授業の具体的到達目標] コンピュータの初歩的操作を学び、保育現場で活用できることを目指す。実習授業とも連携し、パソコンを用いた実習準備も行う。						
[授業の概要] 情報処理入門としてコンピュータ操作の基礎を学ぶ。 とくに、保育現場での活用を前提とした実践的な内容を重点的に扱う。						
[授業計画]						[担当]
1 回	Word 文書の作成「季節の園だより」①(文書作成の基礎「季節のあいさつ」「内容」)					甲賀
2 回	Word 文書の作成「季節の園だより」②(画像や表の挿入など「行事予定の挿入」)					甲賀
3 回	Word 文書の作成「季節の園だより」③(文書作成、画像や表の挿入など)					甲賀
4 回	Word 文書の作成「季節の園だより」④(文書作成、画像や表の挿入、印刷)					甲賀
5 回	予備日(園だより講評会、ファイルの整理、Excel データ整理)					甲賀
6 回	保育教材の作成「デジタル紙芝居」①(ストーリー作成、アニメーションの活用など)					甲賀
7 回	保育教材の作成「デジタル紙芝居」②(ストーリー作成、アニメーションの活用など)					甲賀
8 回	保育教材の作成「デジタル紙芝居」③(ストーリー作成、アニメーションの活用など)					甲賀
9 回	保育教材の作成「デジタル紙芝居」④(発表準備、発表会)					甲賀
10 回	保育教材の作成「デジタル紙芝居」⑤(発表会)					甲賀
11 回	実習用書類作成①					甲賀
12 回	実習用書類作成②					甲賀
13 回	既存ファイルの活用①(「季節の園だより」作成)					甲賀
14 回	既存ファイルの活用②(「季節の園だより」作成)					甲賀
15 回	後期まとめ					甲賀
試験等	課題・レポート					甲賀
[成績評価] 課題 60%、レポート 40% の比率で総合的に評価する。						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 予習は、タッチタイピングが苦手な者はその練習。タッチタイピングについては授業の中で説明する。復習は、日常のパソコン使用場面において、授業内学習事項を参照の上活用すること。						
	書名	著者	出版社			
テキスト						
参考文献	特になし					
[備考] それぞれのクラスに TA が配置される。 課題の提出には e ラーニングシステムを利用する。質問がある場合には授業終了後などに教室で受け付ける。						

科目名 (英語名)	社会福祉 Social welfare		科目コード 233125	(ふりがな) 担当者	たなか としのり 田中 利則	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	前期	授業方法	講義	
[履修条件、準備等] 授業中の私語、携帯電話の通話、メール、SNS 利用、お化粧品、他の科目の作業などは禁止します。学生は講義の開始前から学習する心構えを意識ながら臨むことを期待する。						
[授業の具体的到達目標] この社会福祉では、これらの社会環境や個人、家庭の問題に焦点をあてながら、社会福祉のサービスの概要と必要性について学び、学生一人ひとりが社会福祉に関する法制度や知識についての理解を深める。						
[授業の概要] 世界の政治経済や治安の状況が不安定な状況なかで、我が国の国民はさまざまな困難を抱える事態を迎え、これらの人々を支援するために社会福祉サービスは幾多の改革を経ながら、徐々に後退する様相を見せている。テキストを中心に日本の社会福祉の歴史や人物、法制度等について学習し、必要とされる情報や現状、事例などを提示していきます。						
[授業計画]						[担当]
1回	オリエンテーション					田中
2回	資本主義社会と社会福祉サービスの必要性					田中
3回	社会福祉の概念と子どもの現状					田中
4回	社会福祉の歴史と変遷					田中
5回	社会福祉の理念と体系					田中
6回	社会福祉の制度と法体系					田中
7回	社会福祉の仕組みと行財政					田中
8回	社会福祉の機能と役割					田中
9回	社会福祉における相談援助					田中
10回	社会福祉を支える専門職					田中
11回	権利養護と自立支援					田中
12回	地域福祉の役割と課題					田中
13回	保育士と地域福祉					田中
14回	これからの社会福祉の内容や質・方向性					田中
15回	まとめ					田中
試験等	小テストを2回行います。					田中
[成績評価] ・授業態度 40% ・授業中の小テスト2回 60% (総合評価)						
[準備学習(予習・復習等)の内容] ・新聞記事やTVのニュース等を見て、最新の情報を収集して授業に臨むこと。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	子どもの生活を支える社会福祉	大塚良一 編	ミネルヴァ書房			
		小野澤 昇 編				
		田中利則 編				
参考文献	特になし					
[備考] ・テキスト、資料中心の講義を行い、加えて、テーマを決めて議論を行います。必要に応じてDVDを使用します。 ・リファレンスシート(反省や質問、意見)を使用します。 ・質問や疑問はメール(t-tanaka@shohoku.ac.jp)で対応することも可能です。						

科目名 (英語名)	児童家庭福祉		科目コード	(ふりがな) 担当者	たなか としのり 田中 利則	専任・非常勤
	Child and family welfare		233135			専任
2単位	開講期	前期	授業方法	講義		
[履修条件、準備等]						
<p>最近の子どもの生活や学習、人間関係などに関する問題点について事前に情報を得る必要があります。また、自分の幼い頃の状況と比較して相違する部分を把握しておくようにする。また、授業中の私語、携帯電話の通話、メール、SNS利用、お化粧品、他の科目の作業などは禁止します。学生は講義の開始前から学習する心構えを意識ながら臨むことを期待する。</p>						
[授業の具体的到達目標]						
<p>児童家庭福祉では、子どもたちが健やかに成長していくためには、如何なる状況や環境が必要なのかについて考える。また、これらの環境を整えるために、国や地方自治体あるいは地域社会はどのような法制度や資源を準備しているのかについて学習する。加えて、保育士がこれらの状況のなかで如何なる役割を果たす必要があるのかについて学ぶ。</p>						
[授業の概要]						
<p>出生時に障害をもって生まれてくる子や健全な形で生まれてきた子どものすべてが順調に育って大人に成長していかないケースもある。環境に恵まれない子どもが心身の発達に問題を内在することは珍しくない。また、貧困家庭の増加や家族関係の破綻も気になる。これらを含め子ども及び家庭に関する福祉について基本的な知識や法制度、事例を中心に学ぶ。</p>						
[授業計画]						[担当]
1回	オリエンテーション					田中
2回	現代社会における児童家庭福祉の意義①					田中
3回	現在社会における児童家庭福祉の意義②					田中
4回	児童家庭福祉の歴史的変遷①					田中
5回	児童家庭福祉の歴史的変遷②					田中
6回	児童家庭福祉と保育					田中
7回	児童家庭福祉の制度①					田中
8回	児童家庭福祉の制度②					田中
9回	児童家庭福祉の実施体系①					田中
10回	児童家庭福祉の実施体系②					田中
11回	児童家庭福祉の現状と課題①					田中
12回	児童家庭福祉の現状と課題②					田中
13回	児童を取り巻く環境と課題					田中
14回	児童家庭福祉の動向と展望					田中
15回	まとめ					田中
試験等	2回の小テストを行う					田中
[成績評価]						
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 40%・授業中の小テスト 2回 60% (総合評価) 						
[準備学習 (予習・復習等) の内容]						
<ul style="list-style-type: none"> 子どもや家庭で生じている問題について情報の収集を行うようにしましょう。 						
	書名	著者	出版社			
テキスト	子どもの生活を支える 児童家庭福祉	大塚良一 編	ミネルヴァ書房			
		田中利則 編				
		小野澤昇 編				
参考文献	特になし					
[備考]						
<ul style="list-style-type: none"> テキスト、資料中心の講義を行い、加えて、テーマを決めて議論を行います。必要に応じてDVDを使用します。 リファレンスシート(反省や質問、意見)を使用します。 質問や疑問はメール(t-tanaka@shohoku.ac.jp)で対応することも可能です。 						

科目名 (英語名)	保育原理 (Principle of Early Childhood Care and Education)		科目コード 233140	(ふりがな) 担 当 者	(たかき ゆうこ) 高木 友子	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	通年	授業方法	講義	
[履修条件、準備等] 板書以外にも記録を取り、ノートを作成し、授業内容の理解に努めること。						
[授業の具体的到達目標] 保育とは何か、子どもの存在をどのようにとらえるべきか、また、保育の歴史と諸制度について基本的な知見を得る。						
[授業の概要] 保育とは何か、子どもの存在をとらえるとはどのようなことか、また、保育の歴史と諸制度、子どもを取り巻く現状について						
[授業計画]						[担当]
1回	保育とは何か					高木
2回	保育所保育と家庭的保育					高木
3回	保育所保育指針と施設保育					高木
4回	環境を通して行う保育					高木
5回	生きる力の基礎を培う保育					高木
6回	生活と遊びを通しての保育					高木
7回	世界の保育：歴史と思想					高木
8回	日本の保育：歴史と思想					高木
9回	日本の保育：現状と課題					高木
10回	発達過程に応じた保育1					高木
11回	発達過程に応じた保育2					高木
12回	発達過程に応じた保育3					高木
13回	発達過程に応じた保育4					高木
14回	発達過程に応じた保育5					高木
15回	まとめ					高木
試験等	試験は行わず、課題を課す予定					高木
[成績評価] 期末課題60%、受講態度40%						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 予習としては日頃から社会の状況と子どもの姿に興味を持つこと。 復習としては授業で学んだことを保育の実践に活かすこと。						
	書 名	著 者	出 版 社			
テキスト	保育原理(印刷中)	石橋哲成(編)	一藝社			
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針		チャイルド本社			
参考文献						
[備考] 特になし						

科目名 (英語名)	社会的養護 Social nursing		科目コード 233145	(ふりがな) 担当者	たなか としのり 田中 利則	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	後期	授業方法	講義	
[履修条件、準備等] 現代の家庭や児童が抱える状況に関心を持ち、事前に新聞や雑誌に掲載されている情報に目を通しましょう。また、授業中の私語、携帯電話の通話、メール、SNS利用、他の科目の作業などは禁止します。学生は講義の開始前から学習する心構えを意識ながら臨むことを期待する。						
[授業の具体的到達目標] 社会的養護では、トラブル事情が生じた際に、如何なる支援や公的扶助が必要なのかについて学ぶ。また、地域社会の資源としての社会福祉施設や家庭的養護、家庭養護の概要について学び、理解し、児童、施設や里親などについて学ぶ。						
[授業の概要] 人間は幸せを求める。しかし、何らかの事情で個人や家族にトラブルが生じたときには、それぞれの生活や人生設計に振幅が生じる。主に地域社会や家庭で生じる生活上の事故やトラブルを取り上げて、これらに対処するための法制度や社会資源、福祉サービスの種類や内容に注目し、社会的養護に関する法制度や実際について理解する。						
[授業計画]						[担当]
1回	オリエンテーション					田中
2回	現代社会における社会的養護の意義					田中
3回	現代社会における社会的養護の歴史の変遷と今日的課題					田中
4回	我が国における戦後の児童養護の変遷					田中
5回	社会的養護の制度と実施体制					田中
6回	児童の権利養護					田中
7回	施設養護の領域					田中
8回	施設養護の実践					田中
9回	社会的養護の実践者に求められる専門性と援助技術					田中
10回	施設の運営管理					田中
11回	社会的養護の現状と課題					田中
12回	児童福祉法の改正と社会福祉施設（前期の復習）					田中
13回	児童福祉法の改正と里親制度（前期の復習）					田中
14回	児童福祉改正と児童施設最低基準法（前期の復習）					田中
15回	まとめ					田中
試験等	小テスト（レポート）を2回行う					田中
[成績評価] ・授業態度 40%・授業中の小テスト（レポート）2回 60%（総合評価）						
[準備学習（予習・復習等）の内容] ・社会で生じている児童や家庭の問題について、日常から関心を持って、情報の収集を行うことを期待したい。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	子どもの生活を支える社会的養護	小野澤 昇 編	ミネルヴァ書房			
		田中 利則 編				
		大塚 良一 編				
参考文献	特になし					
[備考] ・テキスト、資料中心の講義を行い、加えて、テーマを決めて議論を行います。必要に応じてDVDを使用します。 ・リファレンスシート(反省や質問、意見)を使用します。 ・質問や疑問はメール(t-tanaka@shohoku.ac.jp)で対応することも可能です。						

科目名 (英語名)	教育原理 Principles of Education		科目コード 233150	(ふりがな) 担当者	しみず みき 清水 美紀	専任・非常勤 非常勤
	2単位	開講期	前期	授業方法	講義	
[履修条件、準備等] 新聞や日々のニュース等を通して、現代の教育問題や社会の動きに、関心をもつようにしてください。						
[授業の具体的到達目標] ① 「教える—学ぶ」という教育の基本的関係を、さまざまなテーマを通して学びます。 ② 「教育とは何か」という問いに、自分なりのこたえを得ることを目標とします。						
[授業の概要] 昨今、子どもや学校をめぐるさまざまな問題が取り上げられています。本講義では、教育の意義、目的、教育の基礎概念、歴史、実践など、教育学の基本的知識を学んでいきます。さらに現代の教育、子どもをめぐる問題について考えながら、「教育とは何か」という問いへの、自分なりのこたえを探っていきましょう。						
[授業計画]						[担当]
1回	オリエンテーション —保育における教育原理					清水
2回	原理としての教育					清水
3回	育ち・学びと教育					清水
4回	教育と子ども観 —「子どもの発見」から子ども観の変遷					清水
5回	教育の歴史と思想 ①西洋における教育思想の潮流 (1)					清水
6回	教育の歴史と思想 ②西洋における教育思想の潮流 (2)					清水
7回	教育の歴史と思想 ③日本における教育思想の潮流					清水
8回	教育の歴史と思想 ④学校の歴史、しくみ (1)					清水
9回	教育の歴史と思想 ⑤学校の歴史、しくみ (2)					清水
10回	教育に関する法規					清水
11回	教育課程・保育課程 ①					清水
12回	教育課程・保育課程 ②					清水
13回	子どもの生活をめぐる諸問題 ①					清水
14回	子どもの生活をめぐる諸問題 ②					清水
15回	家庭教育・地域の教育・生涯教育					清水
試験等	期末試験実施 (配布資料、ノートの持ちこみ可)					清水
[成績評価] 試験：60%、コメントシート (授業への取り組み姿勢を含む)：40%の比率で総合的に評価します。						
[準備学習 (予習・復習等) の内容] 予習：日ごろから、教育や子どもをめぐる問題、社会の動きに関心をもつこと。 復習：配布資料はファイルし、講義のポイントを復習すること。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	テキストは指定しません。					
	毎回、資料を配布します。					
参考文献	やさしい教育原理 [新版補訂版]	田嶋一	有斐閣			
	よくわかる教育原理	汐見稔幸ら	ミネルヴァ書房			
	幼児教育の原理 [第2版]	菱田隆昭	みらい			
[備考] ・パワーポイントや、適宜、視聴覚資料を用いた授業の実施を予定しています。 ・質問がある場合には、授業終了後に教室にて受け付けます。						

科目名 (英語名)	保育課程論 (Curriculum for Preschool Children)		科目コード	(ふりがな) 担当者	(たかき ゆうこ) 高木 友子	専任・非常勤
			233155			専任
2単位	開講期	後期	授業方法	講義・演習		
[履修条件、準備等] 課題が課されるので、授業時間外も積極的に自習すること。						
[授業の具体的到達目標] 保育における計画とはどのようなものか理解し、実際に計画を作成すること。						
[授業の概要] 保育における計画の必要性と計画作成上の注意事項について。 実習に備えて課題として実際の計画作成を行う。						
[授業計画]						[担当]
1回	ガイダンス				高木橋高	
2回	幼稚園教育要領より				橋高高木	
3回	子どもの主体の保育とは				橋高高木	
4回	環境を通しての保育とは				橋高高木	
5回	実習のヒントとアイデア				高木橋高	
6回	指導案書式の説明				高木橋高	
7回	課題①作成				高木橋高	
8回	課題②説明				高木橋高	
9回	課題①返却と解説 1				高木橋高	
10回	課題①返却と解説 2				高木橋高	
11回	課題②作成 1				高木橋高	
12回	課題②作成 2				高木橋高	
13回	課題②返却と解説 1				高木橋高	
14回	課題②返却と解説 2				高木橋高	
15回	まとめ				高木橋高	
試験等	試験は行わず、課題提出を課す				高木橋高	
[成績評価] 課題 60%、受講態度 40%						
[準備学習（予習・復習等）の内容] 保育ボランティアなどで子どもの姿を学ぶこと。また、普段から子どもの遊びや絵本によく触れ、興味と知識を養うこと。						
	書 名		著 者		出 版 社	
テキスト	実習のヒントとアイデア		鈴木みゆき		萌文書林	
参考文献	幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針				チャイルド本社	
[備考] 上記以外の担当者（橋高佳恵 きったかよしえ）						

科目名 (英語名)	保育の心理学 I (psychology of Children I)		科目コード	(ふりがな) 担当者	(すずき ひろみつ) 鈴木 弘充	専任・非常勤
			233175			専任
2 単位	開講期	前期	授業方法	講義		
[履修条件、準備等] 日頃から乳幼児に関心を持って観察し、授業に積極的に取り組むこと。						
[授業の具体的到達目標] 発達心理学的視点から乳幼児の発達のみちすじを理解し、発達の援助者としての保育者の役割を理解する。						
[授業の概要] 乳幼児の発達について、具体的なイメージがつかめるよう、事例を用いながら解説する。乳幼児期以降の発達との関連についても解説する。						
[授業計画]						[担当]
1 回	導入①：乳幼児の実際					鈴木
2 回	導入②：乳幼児の発達を捉える視点					鈴木
3 回	認知発達①					鈴木
4 回	認知発達②					鈴木
5 回	認知発達③					鈴木
6 回	愛着の発達①					鈴木
7 回	愛着の発達②					鈴木
8 回	対人関係の発達①					鈴木
9 回	対人関係の発達②					鈴木
10 回	自己認識①					鈴木
11 回	自己認識②					鈴木
12 回	道徳性の発達①					鈴木
13 回	道徳性の発達②					鈴木
14 回	就学に向けた発達の課題					鈴木
15 回	前期のまとめ					鈴木
試験等	プリント（課題）の作成・提出					鈴木
[成績評価] プリント（課題） 80%、授業に取り組む姿勢 20%						
[準備学習（予習・復習等）の内容] テキストを授業前に読んでおく。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	教育心理学（エクササイズ）で	小山 望 編著	建帛社			
	学ぶ発達と学習					
参考文献						
[備考] 質問等は、オフィスアワーを利用してください。時間は、研究室ドア付近に掲示します。						

科目名 (英語名)	保育の心理学Ⅱ (Psychology of Childcare Ⅱ)		科目コード	(ふりがな) 担当者	(てるい ゆうこ) 照井 裕子	専任・非常勤
			233180			専任
1 単位	開講期	前期	授業方法	講義/演習		
[履修条件、準備等] 授業に積極的に取り組み、日頃から乳幼児に関心をもつこと。						
[授業の具体的到達目標] 個と集団の育ちを踏まえ、保育の具体的場面に即して子どもの発達援助を行う実践力を修得する。						
[授業の概要] 具体的な保育場面を想定し、保育者のかかわりや配慮について解説する。またそれらの学びをより深めるため、関連したワーク等を行う。						
[授業計画]						[担当]
1 回	ガイダンス					照井
2 回	個人差や発達過程に応じた保育①					照井
3 回	個人差や発達過程に応じた保育②					照井
4 回	身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用①					照井
5 回	身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用②					照井
6 回	環境としての保育者と子どもの発達①					照井
7 回	環境としての保育者と子どもの発達②					照井
8 回	子ども相互のかかわりと関係づくり①					照井
9 回	子ども相互のかかわりと関係づくり②					照井
10 回	子ども集団と保育の環境					照井
11 回	子どもの遊びと学び					照井
12 回	自己の主体性の形成と発達援助①					照井
13 回	自己の主体性の形成と発達援助②					照井
14 回	発達の連続性と就学への支援					照井
15 回	学びのまとめ					照井
試験等	課題提出					照井
[成績評価] 課題 70%、授業内提出物 30%の比率で総合的に評価する。						
[準備学習 (予習・復習など) の内容] 授業内容に応じ必要時資料を配布するので、指示に従い事前学習・復習を行うこと。						
	書 名	著 者		出 版 社		
テキスト						
参考文献	保育の心理学Ⅱ	清水益治・無藤隆(編)		北大路書房		
[備考] オフィスアワーを設定する。時間等は研究室前に掲示するので確認の上、来室すること。 授業の進行は主にパワーポイントにより行う。また、授業内容によりビデオ視聴によるワークを行う。 課題の提出には学内 E-learning システム Moodle を使用する。						

科目名 (英語名)	子どもの保健 I (Child Health I)		科目コード 233185	(ふりがな) 担当者	(せきぐちけいこ) 関口 恵子	専任・非常勤 非常勤	
4 単位	開講期	通年	授業方法	講義/演習			
[履修条件、準備等] ○子どもの保健Ⅱの基礎科目である。 ○自分の子どもの時の発育・健康状態を母親など養育者に聞き、母子手帳等で確認しておいてください。 ○可能ならば母子手帳(自分自身、兄弟など)を持参してください。							
[授業の具体的到達目標] 1) 子どもの心身の健康増進を図るための保健活動の意義を理解する。2) 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。3) 子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。4) 子どもの精神保健とその課題などについて理解する。5) 事故防止と安全対策・保育環境について理解する。 6) 施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。							
[授業の概要] 現代の子どもの健康問題を理解し、心身の健康増進を図る保健活動について学びます。また子どもの特徴や各期の発育・発達を理解した保健活動の重要性、さらに多く見られる疾病、事故防止と安全対策について学びます。そして健康で安全を守るための地域における健康づくり、家庭との連携の必要性を考えます。							
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]	
1 回	子どもの特徴と発育・発達		関口	16 回	子どもの病気の総論		関口
2 回	健康の概念と子どもの保健		関口	17 回	感染症と予防接種(母子健康手帳確認)		関口
3 回	地域における保健活動と児童虐待防止		関口	18 回	食中毒		関口
4 回	生物としてのヒトの成り立ち1		関口	19 回	栄養障害		関口
5 回	生物としてのヒトの成り立ち2		関口	20 回	アレルギー障害(気管支喘息)		関口
6 回	身体発育1		関口	21 回	消化器障害		関口
7 回	身体発育2(母子健康手帳、評価演習)		関口	22 回	呼吸器障害(肺炎)		関口
8 回	生理機能の発達1 呼吸、循環、消化系		関口	23 回	循環器・血液障害(心疾患、白血病)		関口
9 回	生理機能の発達2 体温、腎、免疫		関口	24 回	腎・泌尿器障害(ネフローゼ症候群)		関口
10 回	生理機能の発達3 運動反射、感覚系		関口	25 回	代謝疾患(小児糖尿病)		関口
11 回	精神運動機能の発達		関口	26 回	運動器疾患		関口
12 回	心理・社会的機能の発達1 情緒、言語		関口	27 回	精神・神経疾患1(てんかん)		関口
13 回	心理・社会的機能の発達2 認知		関口	28 回	精神・神経疾患2(発達障害)		関口
14 回	心理・社会的機能の発達3 発達課題		関口	29 回	トピックス(出生前診断放など)		関口
15 回	前期学習のまとめ		関口	30 回	後期学習まとめ		関口
試験等	前期末試験		関口	試験等	後期末試験		関口
[成績評価] 試験 60%、授業のコメントシート・レポート 30%、授業姿勢 10% (グループ討議などでの積極的な意見発表)							
[準備学習(予習・復習等)の内容] 子ども時代の振り返るとともに周囲の子どもの様子を観察し、意見を積極的に発表できるよう準備しておくこと。							
	書 名		著 者		出 版 社		
テキスト	子どもの保健		巷野悟郎		診断と治療社		
参考文献							
[備考] ○パワーポイントを使用した講義が中心ですが、適宜、授業テーマに沿ってグループ討議を行います。 ○毎回、講義レジュメを配布します。レジュメに重要なポイントを記入し、講義ノートを作成するとより理解が深まる。 ○質問がある場合には授業終了後などに教室で受け付けます。							

科目名 (英語名)	保育内容総論 Study of contents for care and education		科目コード 233210	(ふりがな) 担当者	さねよしあきこ 實吉 明子	専任・非常勤 専任
	1 単位	開講期	前期	授業方法	講義	
[履修条件、準備等] 各自、「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を熟読しましょう。						
[授業の具体的到達目標] 2年間の保育内容に関する基礎学習を行います。将来、保育者として豊かな保育を実践・展開するために、まず保育の全体構造を理解すると共に、社会の変化に伴って変容してきた保育内容について理解し、さらに具体的に保育場をイメージし、保育実践への意欲を高めます。						
[授業の概要] 保育内容の各論として他の教科目で、領域（健康・環境・人間関係・言葉・表現）別に学習するのと並行して、各領域やねらいを総合的に捉え、子ども主体の保育を行う視点を養い、総合的な保育が行えるよう実践力の基礎を培います。授業では、具体的な保育場を想定し、ビデオ視聴、グループ討議・発表、演習を通して、実践的に学びます。						
[授業計画]						[担当]
1 回	ガイダンス、保育の歴史に触れる、現代社会と保育を考える					實吉
2 回	場の理解—幼稚園の一日を理解する					實吉
3 回	場の理解—保育所の一日を理解する					實吉
4 回	保育内容の構成・変遷を理解する					實吉
5 回	場の理解—認定子ども園の成り立ちを考える					實吉
6 回	場の理解—その他の保育システムを知る					實吉
7 回	遊びと保育内容、保育における指導・援助、遊び・生活と保育者の役割について考える					實吉
8 回	保育内容と教材（紙芝居を手がかりに考える）：VTR 演習①					實吉
9 回	保育内容と教材（紙芝居を手がかりに考える）：実演練習①					實吉
10 回	保育内容と教材（紙芝居を手がかりに考える）：実演練習②					實吉
11 回	保育現場での保育者の対応を考える：VTR 演習②— 様々な保育場面をとらえて					實吉
12 回	保育現場での保育者の対応を考える：VTR 演習③— 様々な保育場面をとらえて					實吉
13 回	保育現場での保育者の対応を考える：VTR 演習④— 様々な保育場面をとらえて					實吉
14 回	保育の中での子どもの姿—保育内容を総合的に捉える：VTR 演習⑤					實吉
15 回	保育環境と保育内容、子ども主体的の保育を考える					實吉
試験等	筆記試験					實吉
[成績評価] 総合評価（演習態度・参加状況・課題提出物 30%、期末筆記試験 70%）						
[準備学習（予習・復習等）の内容] ・配布資料等は、必ずファイルし、次回までに十分に復習すること。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	特に無し（資料を配布します）					
参考文献	保育所保育指針	厚生労働省				
	幼稚園教育要領	文部科学省				
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府				
[備考] 授業内容・形態に応じ、使用教室を変更する場合があります。その際には、掲示で周知します。（教室確保の関係で、授業計画の順序を変更する可能性も有りますが、授業内で案内します。）						

科目名 (英語名)	環境の指導 Instruction to Environment		科目コード 233220	(ふりがな) 担当者	まつぎき まみ 松崎 真実	専任・非常勤 非常勤
	1単位	開講期	通年	授業方法	講義/演習	
[履修条件、準備等] 保育士資格、幼稚園教諭免許取得の必修科目であり、保育内容五領域の一つ「環境」について学ぶ授業です。毎回、テキスト、保育所保育指針、幼稚園教育要領、ノートを必ず準備して臨んでください。日常生活における自己をとりまく環境を意識し、子どもの発達を支える環境のあり方を考えるよう心がけてください。						
[授業の具体的到達目標] 一、身近な環境に気づく。二、身近な環境に関わる。三、環境に関する知識を豊かにする。四、環境の活かし方を考えることができる。五、子どもの発達にとって望ましい環境を考えることができる。						
[授業の概要] 授業は、教員の解説が中心の「講義」の回と、学生自身が環境との関わりを体験する「ワーク」の回があります。保育における環境の意味や機能について、具体的な素材でテーマをとおして実践的に学びます。四季をとおしての自然とのかかわりを重視することから、隔週通年の授業で、季節に応じた環境をとらえる内容を盛り込んでいきます。						
[授業計画]						[担当]
1回	イントロダクション					松崎
2回	環境の構成					松崎
3回	ワーク：散歩の指導					松崎
4回	園外保育					松崎
5回	自然環境 ワーク：芝くん作り					松崎
6回	園内環境					松崎
7回	ワーク：泥だんご作り					松崎
8回	子どもの安全と遊び					松崎
9回	遊び場マップの発表：遊びの環境について考える					松崎
10回	自然現象にかかわる保育					松崎
11回	ワーク：秋の園外保育と秋さがし					松崎
12回	自然とふれあう保育					松崎
13回	子どもの生活と環境構成					松崎
14回	いのちの教育と動物					松崎
15回	保育における動物飼育					松崎
試験等	試験					松崎
[成績評価] 講義やワークへの参加状況・ワークシート・コメントシート(15%)、課題(35%)、試験(50%)から総合的に評価します。必修課題として、「泥だんご作り」、夏休みの課題「遊び場マップ」、年度末の課題「My 暦」、ほかに自由課題等があります。						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 毎回の終わりに次回の内容を予告します。隔週の授業なので、前回の内容を復習し、次回の内容の見通しをもって臨みましょう。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	幼稚園教育要領	文部科学省	チャイルド本社			
	保育所保育指針 原本	厚生労働省	チャイルド本社			
参考文献						
[備考] 日々、五感を豊かに、身近な環境に意識を向けてみてください。 意欲ある人には、「こども環境管理士」の資格取得をおすすめします(湘北短期大学の資格取得奨励制度の適用資格)。 質問がある場合には授業終了後などに教室で受け付けます						

科目名 (英語名)	言葉の指導 Language		科目コード 233230	(ふりがな) 担当者	さねよしあきこ 實吉 明子	専任・非常勤 専任
	1 単位	開講期	後期	授業方法	演習	
[履修条件、準備等] 保育実習・教育実習に参加することを前提に、夏季保育ボランティアの経験等を生かし、少人数で演習形式を多用して授業を行います。その利点を享受できるよう、積極的に授業に参加し、十分な復習をして実践力を高めましょう。授業以外でも自身の国語力・言語活動に問題意識を持って臨み、保育者としての言語感覚を養いましょう。						
[授業の具体的到達目標] 保育施設における保育内容「言葉」の領域についての理解を深め、保育現場での実践力を身に付けます。まず、保育の場における言葉をめぐる様々なことから目を向け、問題意識を持つことからスタートします。さらに、保育者に求められる言葉に関する援助について習得します。併せて、各種言語教材について学習し、実践力を高めます。						
[授業の概要] 授業では様々な事例を取り上げ、実際の保育場面を具体的にイメージして学習します。グループ討論、ビデオ視聴、言語発達に関する保育教材の演習等々、様々なアプローチで学習します。また、実習への意欲が高まるよう、保育実習・教育実習に臨む際の学習ポイント・観点についても折々に触れられるよう意図して授業が展開されます。						
[授業計画]						[担当]
1 回	言葉の機能について感じ、考える					實吉
2 回	保育内容「言葉」－ 領域「言葉」のねらい・内容の全体を捉える					實吉
3 回	生活と言葉－ 言葉の育つ要因について考える					實吉
4 回	乳幼児の言葉の発達と環境 (その1)					實吉
5 回	乳幼児の言葉の発達と環境 (その2)					實吉
6 回	言葉に関する諸問題とその理解、ならびに保育の場での対応 (その1)					實吉
7 回	言葉に関する諸問題とその理解、ならびに保育の場での対応 (その2)					實吉
8 回	言葉に関する諸問題とその理解、ならびに保育の場での対応 (その3)					實吉
9 回	集団保育の場における「言葉」					實吉
10 回	保育活動と「言葉」(その1)－ 保育者の援助の方法と留意点について考察する					實吉
11 回	保育活動と「言葉」(その2)－ 絵本を手がかりに：留意点を考える					實吉
12 回	保育活動と「言葉」(その3)－ 絵本を手がかりに：留意点を体験的に学ぶ					實吉
13 回	保育活動と「言葉」(その4)－ 絵本を手がかりに：留意点をグループ学習する					實吉
14 回	保育活動と「言葉」(その5)－ さまざまな言語教材を知る					實吉
15 回	補足・まとめ (学習全体を振り返り、保育実習や2年次の学習の意欲を高めます)					實吉
試験等	筆記試験					實吉
[成績評価] 総合評価：演習態度・参加状況・課題提出物 (40%)、筆記試験 (60%)						
[準備学習 (予習・復習等) の内容] 学習内容の定着には、自学自習が重要です。毎回十分に復習した上で次回の授業に臨むと理解が深まり、実習に対する不安も解消でき、問題意識をもって実習に参加できるようになります。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	子どもと言葉	岡田明 編	萌文書林			
参考文献	保育者をめざす人の保育内容「言葉」	駒井美智子 編	みらい			
	保育所保育指針	厚生労働省				
	幼稚園教育要領	文部科学省				
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府				
[備考] 授業内容・方法に応じ、使用教室を変更する場合があります。その際には、掲示で周知します。(教室確保の関係で、授業計画の順序を変更する可能性も有りますが、授業内で案内します。) 質問は歓迎しますので、授業・その他オフィスアワーを利用すること(時間は、研究室扉付近に掲示)。						

科目名 (英語名)	乳児保育 (Day Care for Infant)		科目コード	(ふりがな) 担当者	(かめい みやこ) 亀井 美弥子		専任・非常勤
			233240				非常勤
2単位	開講期	通年	授業方法	講義／演習			
[履修条件、準備等] 空き時間を利用して、乳児室の赤ちゃん人形で実技の復習を積極的に行うこと。また、日常のなかで乳児に関心を持ち、観察をすること。							
[授業の具体的到達目標] 保育所や乳児院における乳児保育の果たす役割を学び、乳児保育を担当する保育者に必要な知識と技術を習得する。							
[授業の概要] 乳児の発達や保育についての講義を行うだけでなく、乳児保育に必要な技術を習得するため赤ちゃん人形を用いた実技を行う。							
[授業計画]			[担当]	[授業計画]			[担当]
1回	ガイダンス		亀井	16回	後期ガイダンス		亀井
2回	課題説明		亀井	17回	講義：食事①		亀井
3回	乳児保育とは		亀井	18回	講義：食事②	実技：調乳と食事	亀井
4回	実技：だっことおんぶ①		亀井	19回	実技：調乳と食事	講義：食事②	亀井
5回	実技：だっことおんぶ②		亀井	20回	実技：おむつ解説	講義：清潔①	亀井
6回	講義：0歳児の発達①		亀井	21回	実技：おむつ①	講義：清潔②	亀井
7回	講義：0歳児の発達②		亀井	22回	実技：おむつ②	講義：世界の乳児	亀井
8回	講義：1歳児の発達①		亀井	23回	講義：清潔①	実技：おむつ解説	亀井
9回	講義：1歳児の発達②		亀井	24回	講義：清潔②	実技：おむつ①	亀井
10回	講義：2歳児の発達①		亀井	25回	講義：沐浴	実技：おむつ②	亀井
11回	講義：2歳児の発達②		亀井	26回	実技：沐浴	講義：沐浴	亀井
12回	講義：3～4歳児の発達		亀井	27回	講義：世界の乳児	実技：沐浴	亀井
13回	実技：だっことおんぶ③		亀井	28回	講義：乳児の遊び①		亀井
14回	実技：だっことおんぶ④		亀井	29回	講義：乳児の遊び②		亀井
15回	前期の復習		亀井	30回	後期の復習		亀井
試験等	筆記試験		亀井	試験等	レポート		亀井
[成績評価] 筆記試験とレポート50%、課題提出30%、受講態度(実技の準備・片付けを含む)20%							
[準備学習(予習・復習等)の内容] 授業の準備として、日頃から乳児に興味をもち、機会があれば丁寧に観察をすること。また、実技の授業では自発的に準備・片付けを行うこと。乳児室が空いているときは、自主的に人形を用いて実技練習を行うこと。							
	書名		著者		出版社		
テキスト	特になし						
参考文献	特になし						
[備考] 実技は127教室(乳児室)で行う。授業終了後または昼休みに非常勤講師控室にてオフィスアワーを設ける。 課題やレポートの提出eラーニングシステムMoodleを用いる。							

科目名 (英語名)	地域子育て支援論 A (Community-based Childcare Support A)		科目コード 233245	(ふりがな) 担 当 者	(かめい みやこ) 亀井 美弥子	専任・非常勤 専任
	1 単位	開講期	後期	授業方法	講義/演習	
[履修条件、準備等] 関連施設あゆのこ保育園での子育て支援活動「あゆのこ・ちよっとチャット」に主体的に参加すること。 そのための準備や報告を行うこと。						
[授業の具体的到達目標] 子育て支援活動への参加を通して、親子とのかかわりを中心とした支援の実践力とともに、活動の方針を立てたり具体的にどのような準備を行うかなどの計画力も養う。						
[授業の概要] 保護者や家庭の子育てに対する支援のかかわりを学ぶ。この授業では、大学内の演習だけでなく関連施設あゆのこ保育園における子育て支援活動に参加する。支援の計画・準備・実践・振り返りを行う。						
[授業計画]						[担当]
1 回	ガイダンス					亀井
2 回	子育て支援の実践活動					亀井
3 回	活動の振り返り					亀井
4 回	講義：子育て支援の理念					亀井
5 回	活動の準備					亀井
6 回	子育て支援の実践活動					亀井
7 回	活動の振り返り					亀井
8 回	講義：子育て支援の活動の種類					亀井
9 回	活動の準備					亀井
10 回	子育て支援の実践活動					亀井
11 回	活動の振り返り					亀井
12 回	活動の準備					亀井
13 回	活動の準備					亀井
14 回	子育て支援の実践活動					亀井
15 回	活動の振り返り					亀井
試験等	レポート					亀井
[成績評価] 実践への参加と準備および振り返りレポート 80%、授業態度 20%						
[準備学習（予習・復習等）の内容] 親子遊びを自分で調べて、計画を立てる。そのために、学生グループで連絡を密に取り、役割の確認など怠らないようにする。						
	書	名	著	者	出 版 社	
テキスト	特になし					
参考文献	特になし					
[備考] 質問がある場合には授業終了後などに教室で受け付ける。						

科目名 (英語名)	障害児保育 (Special Needs Nursing)		科目コード	(ふりがな) 担当者	(すずきひろみつ) 鈴木弘充	専任・非常勤
			233250			専任
2単位	開講期	通年	授業方法	演習		
[履修条件、準備等]						
障害や障害児に関心を持って授業に臨むこと						
[授業の具体的到達目標]						
発達の遅れや障害を有する乳幼児とその家族に関する理解を深め、保育者としての関わり方の基礎を学ぶ。						
[授業の概要]						
発達の遅れや障害に関わる要因、発達の遅れや障害を有する乳幼児の心理や行動を学ぶ。その上で、保育者としてのそれら乳幼児と家族への関わり方を学習する。						
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]
1回	ガイダンス		鈴木	16回	障害理解7 学習障害	鈴木
2回	障害とは何か		鈴木	17回	障害理解8 注意欠陥/多動性障害	鈴木
3回	障害のレベルとアプローチ		鈴木	18回	障害児の家族の理解1	鈴木
4回	機能障害の要因①		鈴木	19回	障害児の家族の理解2	鈴木
5回	機能障害の要因②		鈴木	20回	統合保育1 基本	鈴木
6回	生後の環境と障害①		鈴木	21回	統合保育2 保護者対応	鈴木
7回	生後の環境と障害②		鈴木	22回	統合保育3 保育の工夫①	鈴木
8回	障害理解1 視覚障害		鈴木	23回	統合保育4 保育の工夫②	鈴木
9回	障害理解2 聴覚障害		鈴木	24回	統合保育5 保育の工夫③	鈴木
10回	障害理解3 運動障害		鈴木	25回	統合保育6 関係機関との連携	鈴木
11回	障害理解4 知的障害		鈴木	26回	統合保育7 就学	鈴木
12回	発達検査・知能検査について		鈴木	27回	「不適応行動」への対処1	鈴木
13回	障害理解5 自閉症		鈴木	28回	「不適応行動」への対処2	鈴木
14回	障害理解6 アスペルガー症候群		鈴木	29回	「不適応行動」への対処3	鈴木
15回	まとめ		鈴木	30回	まとめ	鈴木
試験等	レポート提出		鈴木	試験等	レポート提出	鈴木
[成績評価]						
レポートの内容による						
[準備学習(予習・復習等)の内容]						
授業前に教科書を読み、授業後に教科書、プリントを読み返すこと。						
	書名		著者		出版社	
テキスト	教育心理学〈エクササイズ〉で学ぶ発達と学習		小山 望		建帛社	
参考文献	特になし					
[備考]						
相談等をオフィスアワーに受け付けます。時間は、研究室ドア付近に張り出します。						

科目名 (英語名)	手話コミュニケーション SIGN LANGUAGE		科目コード	(ふりがな) 担当者	聴覚障害者協会派遣講師	専任・非常勤
			232397			非常勤
1単位	開講期	後期	授業方法	演習		
[履修条件、準備等] 受講者は最大35名とします。受講希望者が35名を超える場合には初回授業時に抽選を行い、受講者を決定します。						
[授業の具体的到達目標] ・聴覚障害に関する基礎知識、及び手話の基本語彙や文法を習得できるようになる。 ・それらを基に手話の表現能力のレベルアップができるようになる。						
[授業の概要] 身の回りの事柄を中心に手話の基本語彙や文法を学びながら、手話の表現を学びます。 また、聴覚障害者の生活を知り、手話による会話を通じて聴覚障害者との実践的なコミュニケーション能力のアップができるような授業です。						
[授業計画]						[担当]
1回	第1・2講座		伝え合ってみましょう			
2回	第3講座		名前を紹介しましょう			
3回	第4講座		家族を紹介しましょう			
4回	第5講座		数を使ってみましょう			
5回	第6講座		趣味について話しましょう			
6回	第7講座		仕事について話しましょう			
7回	第8講座		住所を紹介しましょう			
8回	第9講座		まとめ			
9回	第10講座		一日のことを話しましょう			
10回	第11講座		一か月のことを話しましょう			
11回	第12講座		一年のことを話しましょう			
12回	第13講座		パーティのことを話しましょう			
13回	第14講座		旅行のことを話しましょう			
14回	第15講座		病院の事を話しましょう			
15回	第16講座		学校のことを話しましょう			
試験等	期末試験を実施。					
[成績評価] 期末試験：70%、受講態度：30%として成績評価を行う。						
[準備学習（予習・復習等）の内容] 授業の復習をよく行い、理解を深めておくこと。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう		(財)全日本聾唖連盟			
参考文献						
[備考] テキスト「手話を学ぼう 手話で話そう」(予価¥3,240)は初回授業時に販売します。 2名の講師により授業を行います。質問がある場合には授業終了後などに教室で受け付けます。						

科目名 (英語名)	造形 PLASTIC ART		科目コード 233295	(ふりがな) 担当者	おおつかしゅうへい 大塚習平	専任・非常勤 専任	
	2単位	開講期	通年	授業方法	実習・演習		
[履修条件、準備等] スケッチブック (F4) 画鉛筆B 色鉛筆 ネームペン 定規 はさみ カッターナイフ スティックのり ステープラ 汚れても構わない服装、靴							
[授業の具体的到達目標] ・造形表現の意義について体験を通して理解する ・素材や技法について体験を通して理解する ・「協働学習」の意義についてグループワークを通して理解する							
[授業の概要] 保育現場で必要とされる造形的な知識・技術・能力の基本となる内容について、様々な素材・用具・技法を用いながら、体験を通して学んでいく。後期は「表現発表プロジェクト step2」や「協働学習」に取り組んでいく。 ※制作状況に応じて、順序や時間数が変更になる事があります。 ※過去の授業資料をファイルしていますので、自主的に教材研究ができます。							
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]	
1回	ガイダンス (造形の目的)		※1	16回	表現発表PJ デザインについて		※1
2回	教科書 スケッチブックについて			17回	表現発表PJ 制作		
3回	12色相環①			18回	表現発表PJ 制作		
4回	12色相環②			19回	表現発表PJ 制作		
5回	色相対比と色の効果について			20回	表現発表PJ 振り返り		
6回	小麦粉粘土			21回	壁面構成① 協働学習について		
7回	テラコッタ粘土① 練り			22回	壁面構成② 個人原案		
8回	テラコッタ粘土②アイデアスケッチ			23回	壁面構成③ グループ原案		
9回	テラコッタ粘土③ 成形			24回	壁面制作④ 裏打ち		
10回	マーブリング			25回	壁面構成⑤ テクスチャー検討		
11回	テラコッタ粘土④ 施釉			26回	壁面構成⑥ パーツ制作1		
12回	にじみ絵 吹き絵 染紙			27回	壁面構成⑦ パーツ制作2		
13回	デカルコマニー			28回	壁面構成⑧ パーツ制作3		
14回	作品写真鑑賞 フロッタージュ			29回	作品撮影 振り返り		
15回	前期振り返り まとめ			30回	作品鑑賞 まとめ アンケート記入		
試験等	スケッチブック提出			試験等	スケッチブック提出		
[成績評価] 「関心・意欲・態度」25% 「丁寧さ・完成度」25% 「アイデア・独創性」25% 「理解度・協調性」25%							
[準備学習 (予習・復習等) の内容] 授業外でも「教室使用願い」提出により、教室を使用できます。スケッチブックのまとめに活用して下さい。							
	書名		著者	出版社			
テキスト	保育をひらく造形表現		槇 英子	萌文書林			
	スケッチブック (F4)			美術出版社			
参考文献	楽しい造形表現		子どもの造形表現研究会	圭文社			
	造形表現		花篤實・岡田敬吾	三晃書房			
[備考] ・上記以外の担当者 (非常勤講師 <small>みかみ けい</small> 三上 慧) ・立体作品の撮影は各自で背景を工夫して行うため、宿題となります。 ・課題の進行速度により、スケッチブックをまとめる為の時間があります。 ※1授業は131教室と132教室で同時並行して行い、ひと月ごとの入れ替え制となります。担当教員は、各回2人体制。							

科目名 (英語名)	幼児体育 Physical Education for Infants		科目コード 233305	(ふりがな) 担当者	おがさわら だいすけ 小笠原 大輔	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	通年	授業方法	講義/演習	
[履修条件、準備等] *初回は着替えず、幼児体育室(211教室)に集合。クラス分けを行う。保育や運動あそびに相応しい服装を準備すること ① 体操服 ②上履き ③髪はきちんと結ぶ ④アクセサリはしない(ピアス・ネックレス・指輪) ⑤貴重品管理						
[授業の具体的到達目標] 運動あそびを現場で実践できる力を磨き、子どもたちのいきいきとした身体活動や運動を援助できるようになる。						
[授業の概要] マット、平均台、ボール、プレイバルーン、鉄棒、リズムダンスなど、保育園や幼稚園で行われる運動あそびを自ら体験し、指導者としての視点や留意点を学ぶ。また自分たちで各年齢にあった教材づくりやルールづくりを行い、発表する。授業内容は幼児体育ノートにまとめて毎週提出する。担当教員と教室は、前期後期で交代する。						
[授業計画]		[担当]	[授業計画]		[担当]	
1回	オリエンテーション	小笠原	16回	発表会VTR鑑賞会、担当決め	多胡	
2回	あそび・ゲーム 担当決め	小笠原	17回	あそび・ゲーム 指導案説明	多胡	
3回	各種ステップ(スキップ)	小笠原	18回	プレイバルーン①	多胡	
4回	マットあそび	小笠原	19回	プレイバルーン②	多胡	
5回	平均台あそび	小笠原	20回	大型遊具(巧技台)	多胡	
6回	表現あそび	小笠原	21回	表現発表PJ通し練習	多胡	
7回	ボールあそび(1人で)	小笠原	22回	伝承あそび	多胡	
8回	ボールあそび(みんなで)	小笠原	23回	竹馬あそび	多胡	
9回	表現あそび	小笠原	24回	竹馬練習	多胡	
10回	鉄棒組立て 鉄棒あそび	小笠原	25回	竹馬補助	多胡	
11回	鉄棒 逆上がり練習 リズムダンス	小笠原	26回	独楽あそび	多胡	
12回	鉄棒 逆上がり補助 リズムダンス	小笠原	27回	【試験】竹馬	多胡	
13回	【試験】逆上がりテスト	小笠原	28回	縄あそび(短縄)	多胡	
14回	発表会にむけた練習	小笠原	29回	縄あそび(長縄)	多胡	
15回	【発表】リズムダンス合同発表会	小笠原	30回	【試験】独楽あそび	多胡	
試験等	幼児体育ノート(前期分)提出	小笠原	試験等	幼児体育ノート(1年分)提出	多胡	
[成績評価] 幼児体育ノート[毎週提出・まとめ方](50%)、関心・意欲・態度(50%)						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 授業内容やあそび実践上の留意点やポイントをまとめ、将来役立つ「幼児体育ノート」を作成する。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	特になし					
参考文献	幼児期の運動指針	幼児期運動指針策定委員会	文部科学省			
	保育と幼児期の運動あそび	岩崎 洋子 編	萌文書林			
[備考] 上記以外の担当者 後期担当: 多胡 綾花						

科目名 (英語名)	幼児体育 Physical Education for Infants		科目コード 233305	(ふりがな) 担当者	たご あやか 多胡 綾花	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	通年	授業方法	講義/演習	
[履修条件、準備等] *初回は着替えず、幼児体育室(211教室)に集合。クラス分けを行う。保育や運動あそびに相応しい服装を準備すること ① 体操服 ②上履き ③髪はきちんと結ぶ ④アクセサリはしない(ピアス・ネックレス・指輪) ⑤貴重品管理						
[授業の具体的到達目標] 運動あそびを現場で実践できる力を磨き、子どもたちのいきいきとした身体活動や運動を援助できるようになる。						
[授業の概要] マット、平均台、ボール、プレイバルーン、鉄棒、リズムダンスなど、保育園や幼稚園で行われる運動あそびを自ら体験し、指導者としての視点や留意点を学ぶ。また自分たちで各年齢にあった教材づくりやルールづくりを行い、発表する。授業内容は幼児体育ノートにまとめ、毎週提出する。学期終了後には担当者教員に提出。担当教員と教室は、前期後期で交代する。						
[授業計画]		[担当]	[授業計画]		[担当]	
1回	オリエンテーション	多胡	16回	発表会VTR鑑賞会、担当決め	小笠原	
2回	あそび・ゲーム 担当決め	多胡	17回	あそび・ゲーム 指導案説明	小笠原	
3回	各種ステップ(スキップ)	多胡	18回	プレイバルーン①	小笠原	
4回	マットあそび	多胡	19回	プレイバルーン②	小笠原	
5回	平均台あそび	多胡	20回	大型遊具(巧技台)	小笠原	
6回	表現あそび	多胡	21回	表現発表PJ通し練習	小笠原	
7回	ボールあそび(1人で)	多胡	22回	伝承あそび	小笠原	
8回	ボールあそび(みんなで)	多胡	23回	竹馬あそび	小笠原	
9回	表現あそび	多胡	24回	竹馬練習	小笠原	
10回	鉄棒組立て 鉄棒あそび	多胡	25回	竹馬補助	小笠原	
11回	鉄棒 逆上がり練習 リズムダンス	多胡	26回	独楽あそび	小笠原	
12回	鉄棒 逆上がり補助 リズムダンス	多胡	27回	【試験】竹馬	小笠原	
13回	【試験】逆上がりテスト	多胡	28回	縄あそび(短縄)	小笠原	
14回	発表会にむけた練習	多胡	29回	縄あそび(長縄)	小笠原	
15回	【発表】リズムダンス合同発表会	多胡	30回	【試験】独楽あそび	小笠原	
試験等	幼児体育ノート(前期分)提出	多胡	試験等	幼児体育ノート(1年分)提出	小笠原	
[成績評価] 幼児体育ノート[毎週提出・まとめ方](50%)、関心・意欲・態度(50%)						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 授業内容やあそび実践上の留意点やポイントをまとめ、将来役立つ「幼児体育ノート」を作成する。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	特になし					
参考文献	幼児期の運動指針	幼児期運動指針策定委員会	文部科学省			
	保育と幼児期の運動あそび	岩崎 洋子 編	萌文書林			
[備考] 上記以外の担当者 後期担当: 小笠原 おがさわら だいすけ 大輔						

科目名 (英語名)	音楽 MUSIC		科目コード	(ふりがな) 担当者	あかい ひろみ 赤井 裕美	専任・非常勤
			233310			専任
2単位	開講期	通年	授業方法	演習		
[履修条件、準備等] テキストは毎回持参して下さい。授業計画に記された曲は最低進度の目安として、各自十分な練習を行い、レッスンを受けて下さい。						
[授業の具体的到達目標] 保育現場で必要とされるピアノ演奏、童謡の弾き歌いを基礎から習得することを目的としています。 ピアノ初心者は譜読みをマスターし、経験者は表現力の向上を目指すなど、各自のレベルに合わせてステップアップをはかります。						
[授業の概要] 幼児教育者として必要な音楽の知識、技能を、一对一の個人レッスンを通して習得します。 各クラスを2グループに分け、指導者7名がローテーションを組んでレッスンを行います。 簡易伴奏曲、童謡、ピアノ曲については、テキストから指定されたものを選び、レッスンを受けて下さい。						
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]
1回	ガイダンス		全教員	16回	エ10 No.68	全教員
2回	エ1 No.1 No.2 No.3		全教員	17回	簡易D 簡易D	全教員
3回	No.4 No.5 No.6 No.7 No.8		全教員	18回	エ13 No.80 簡易F	全教員
4回	No.9 No.10 No.11 No.12 No.13		全教員	19回	簡易F エ15	全教員
5回	No.14 No.15 No.16 No.17		全教員	20回	No.89 童謡	全教員
6回	No.18 No.19 No.20 No.21		全教員	21回	童謡 ピアノ曲	全教員
7回	No.22 エ2 No.23		全教員	22回	応用編 (簡易伴奏)	全教員
8回	No.24 No.26 No.27		全教員	23回	応用編 (簡易伴奏)	全教員
9回	No.29 エ3 No.30		全教員	24回	応用編 (簡易伴奏、ピアノ曲)	全教員
10回	No.31 No.34 No.35		全教員	25回	応用編 (生活のうた)	全教員
11回	簡易C 簡易C No.36		全教員	26回	応用編 (生活のうた)	全教員
12回	No.38 No.39 エ5		全教員	27回	応用編 (童謡)	全教員
13回	No.45 No.46 エ7 エ8		全教員	28回	応用編 (童謡)	全教員
14回	No.55 簡易G 簡易G		全教員	29回	応用編 (童謡、ピアノ曲)	全教員
15回	前期合格曲復習		全教員	30回	後期合格曲復習	全教員
試験等	発表会		全教員	試験等	発表会	全教員
[成績評価] 1. 通年でメソッド60曲を終了 2. 予習復習等の自主学習態度 3. 試験の評価 (発表会形式で、自由曲と当日指定曲を演奏します)						
[準備学習 (予習・復習等) の内容] ピアノは毎日の継続練習が大切です。毎週、自主練習をよく行った上でレッスンを受けて下さい。						
	書 名		著 者	出 版 社		
テキスト	おとなのためのバイエル教本		板東貴余子・本間正治	ドレミ楽譜出版社		
	ポケットいっぱい <u>のうた</u>		鈴木恵津子・富田英也 (監修)	教育芸術社		
	子どもと遊ぼう		カワイ音楽教育室 (編著)	河合楽器製作所・出版部		
参考文献	特になし					
[備考] 上記以外の担当者: <small>きのしたひろこ</small> 木下裕子、 <small>ながたたくし</small> 永田孝志、 <small>たがのぶこ</small> 多賀伸子、 <small>たきざわまゆみ</small> 滝沢真弓、 <small>つしまけいち</small> 津嶋啓一、 <small>くろだのりこ</small> 黒田紀子						

科目名 (英語名)	保育実習 I (保育所) Practical Nusing I		科目コード 233510	(ふりがな) 担当者	(たかき ゆうこ) 高木 友子	専任・非常勤 専任
	2単位	開講期	後期	授業方法	実習	
[履修条件、準備等] 心身が健康で安定していること。子どもに対して愛情を持っていること。「保育実習指導 I」を始めとする保育士資格取得科目を良好な授業態度で履修していること。保育のための努力を惜しまないこと。学校行事などにも積極的に参加できていること。実習に積極的に取り組めること。						
[授業の具体的到達目標] 保育所と保育士の役割を現場体験を通して理解する。保育士資格取得科目での学習内容を総合的に実践し、応用する。2年次でのさらなる学習に向けて学習課題を見出す。						
[授業の概要] 各保育所において実際に保育を観察、参加し、実践的に保育を学習する。						
[授業計画] 実習段階 第1段階：見学・観察実習 第2段階：参加実習（指導保育士の指導の下で保育に参加） 実習期間 平成29年1月26日（木）～2月8日（水）（予定。内、原則11日以上） *やむを得ない理由で欠勤した場合、実習期間を延長し、原則11日以上の実習を行う。 *別途、事前オリエンテーションや事後の書類の受け渡し日などが設けられる。						[担当] ※1
[成績評価] 実習参加態度と実習園からの評価を元に実習記録や事後指導の評価を加味して総合的に評価する。						
[準備学習（予習・復習等）の内容] 保育実習指導 I に沿って準備を進める。その他専門科目の学習を生かす。実習ラウンジを利用し、事前の情報収集や事後の省察を行う。日誌や実習生のための自己評価チェックリスト、事後指導を利用して反省を行い、さらなる課題を見出す。						
	書名	著者	出版社			
テキスト						
参考文献						
[備考] 上記以外の担当教員（ <small>さねよしあきこ</small> 實吉明子、 <small>てるいゆうこ</small> 照井裕子、 <small>おがきわらだいすけ</small> 小笠原大輔） ※1 実習中の対応は、教員4名体制で行う。						

科目名 (英語名)	保育実習 I (施設) (Practical Nursing I)		科目コード	(ふりがな) 担当者	(すずきひろみつ) 鈴木弘充	専任・非常勤
			233515			専任
2単位	開講期	後期	授業方法	実験・実習		
[履修条件、準備等] I年次の科目全般を十分に復習し、心身の健康管理に努めること						
[授業の具体的到達目標] 1. 福祉施設の内容・機能等の概要を理解する。 2. 既習の科目全般の知識・技能を総合的に実践する応用力を身につける。 3. 保育士としての職業倫理と子ども(利用者)の最善の利益について知識を得る。						
[授業の概要] 体験を通して 1. 福祉施設の内容・機能等の概要を理解する。 2. 既習の科目全般の知識・技能を総合的に実践する応用力を身につける。 3. 保育士としての職業倫理と子ども(利用者)の最善の利益について知識を得る。						
[授業計画]						[担当]
1回	1. 実習施設					鈴木
2回	乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、障害児入所支援施設、児童発達支援センター					
3回	(児童発達支援及び医療型児童発達支援を行うものに限る)、障害者支援施設、指定障害福祉					
4回	サービス事業所(生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を行うものに限る)、情					
5回	緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童相談所一時保護施設又は独立行政法人国立					
6回	重度障害者総合施設のぞみの園					
7回						
8回	2. 期間					
9回	原則として、2017(平成29)年2月20日～3月20日のうち12日間					
10回						
11回						
12回						
13回						
14回						
15回						
試験等						
[成績評価] 実習施設の評価40%、実習日誌30%、事後報告30%の比率で総合的に評価する。						
[準備学習(予習・復習等)の内容] 保育実習指導Iの授業内容をしっかり復習すること。						
	書名	著者	出版社			
テキスト	特になし					
参考文献	特になし					
[備考] 質問、相談等は、オフィスアワーを利用してください。時間は研究室ドア付近に張り出します。						

科目名 (英語名)	保育実習指導 I (Guidance of Practical Nursing I)		科目コード 233520	(ふりがな) 担当者	(たかき ゆうこ) 高木 友子	専任・非常勤 専任	
	2単位	開講期	通年	授業方法	講義・演習		
[履修条件、準備等] 意欲をもって自主的に実習の準備を行うこと。皆勤が原則。提出物など期限、時間厳守。							
[授業の具体的到達目標] 保育実習 I (保育所 (施設)) に向けて事前学習を行い、各実習施設と実習についての基礎知識を得て、実習への準備を整える。							
[授業の概要] 前期は 2 年間の実習の流れと実習生としての心構えを学び、夏季保育ボランティア参加の準備を行う。後期は夏季保育ボランティアの経験を踏まえて、実習への具体的な準備を進める。また、特別講義などで社会人として保育者としてのマナーを身に着ける。							
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]	
1 回	ガイダンス エプロン説明		※1	16 回	ボランティアの振り返り		※2
2 回	保育所での実習の目的・内容・方法 メルアド収集 遠方学生実習先確認			17 回	実習Ⅱ実習園選定③ 写真準備アナウンス		
3 回	実習に先駆けて日常心がけること			18 回	施設実習の目的と内容の理解		
4 回	健康調査			19 回	施設実習計画と事前学習について		
5 回	保育ボランティアについての説明			20 回	実習書類作成		
6 回	保育ボランティア希望調査用紙回収 欠席メールについて			21 回	写真撮影 調査票清書		
7 回	保育実習Ⅱ実習園の選択について① 実習ラウンジについて			22 回	情報管理と誓約書について		
8 回	特別講義①-1 マナーについて 1			23 回	施設実習計画の添削		
9 回	特別講義①-2 マナーについて 2			24 回	日誌について		
10 回	特別講義②あゆのこ保育園について			25 回	課題と抱負について		
11 回	実習日誌について ボランティアへ			26 回	課題と抱負返却		
12 回	ボランティアオリエンテーション準備			27 回	オリエンテーションと実習の心得		
13 回	1-2年生地域グループ顔合わせ			28 回	細菌検査とお礼状について		
14 回	実習Ⅱ実習園選択について②			29 回	特別講義③実習に向けて		
15 回	ボランティア直前注意			30 回	日程確認・直前注意		
試験等				試験等			
[成績評価] 実習参加態度と実習園からの実習評価を踏まえて、授業への出席、受講態度、課題提出状況など総合的に評価する。							
[準備学習 (予習・復習等) の内容] 配布資料を熟読し、理解すること。							
	書 名		著 者		出 版 社		
テキスト	実習のヒントとアイデア		鈴木みゆき		萌文書林		
	実習生のための自己評価チェックリスト				萌文書林		
参考文献	幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針				チャイルド本社		
[備考] 上記以外の教員 (實吉明子・鈴木弘充・照井裕子・小笠原大輔) ※1 前期 15 回は、保育所担当 (高木・實吉・照井・小笠原) が担当する。後期は、原則、保育所 (担当者: 前述)、施設 (担当者: 鈴木) 各 1 コマ/週を設定する。							